

The Blueprint of Dreams: Pragmatic Visionary

Hondaの次世代モビリティ戦略と2030年ビジョンへの軌道修正

陸・海・空、そして宇宙へ。
「質の追求」と「したたかな現実主義」で描く、
総合モビリティ企業の変革ダッシュボード。

「すべての人に、『生活の可能性が広がる喜び』を提供する」



喜びの創造

「移動」と「暮らし」の価値創造

モビリティ・ロボティクス・エネルギーを
通じた自由で楽しい体験の提供。



喜びの拡大

多様な社会・個人への対応

多様な文化・価値観を持つすべての人へ
の最適な商品・サービスの提供。



喜びを次世代へ

クリーンで安全・安心な社会へ

環境負荷ゼロ社会と交通事故ゼロ社会
の実現をリード。

Takeaway: 単なる量の追求から、「質の追求による成長」への完全なシフト。

2050年への絶対目標：環境負荷と交通事故の「ゼロ」化

環境負荷と交通事故の「ゼロ」化



The Pragmatic Pivot: 市場環境の変化とアジャイルな戦略転換

Initial Assumption (当初の前提)

- EV市場の急激な拡大と普及
- 各国の厳格な環境規制の即時導入
- IRA (インフレ抑制法) などの継続的な優遇税制



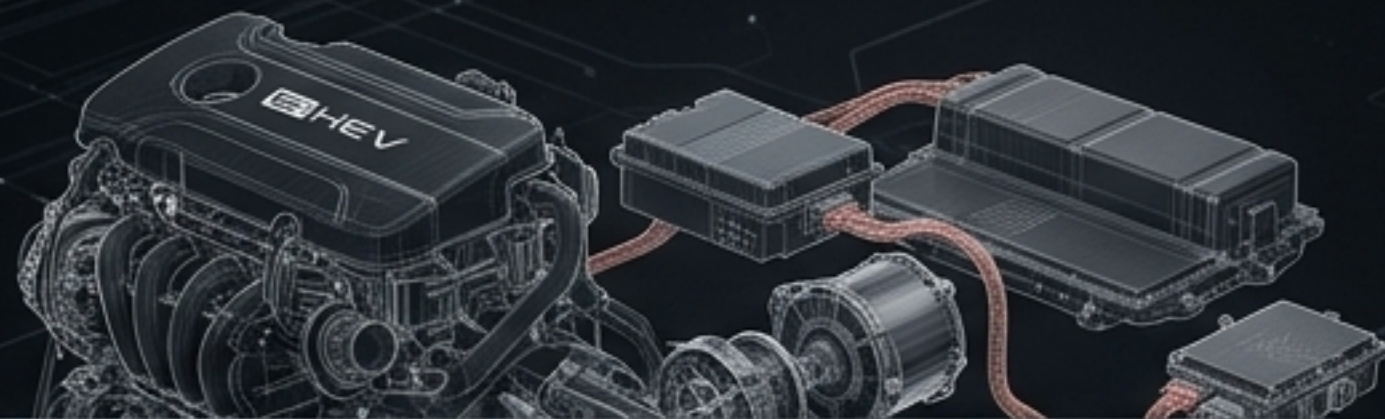
現状: EVの普及は当初の想定より約5年後ろにずれた

アジャイルな
戦略シフト

Current Reality & Pivot (現在の現実と軌道修正)

- 「2040年EV/FCEV 100%」
という最終ゴールは不変
- 規制緩和による「5年の準備期間」を最大限活用
- EVの技術進化と抜本的なコストダウンを推進
- ハイブリッド (HEV) による盤石な収益基盤の再構築

パワートレイン・ポートフォリオの再評価



1

HEV
(収益エンジンの最大化)

- ・2027年以降、次世代HEVをグローバルで13モデル投入
- ・北米市場向け大型車用HEVシステムを新規開発
- ・2018年比でシステムコストを50%以上削減（2023年比で30%削減）
- ・燃費10%以上向上

2

EV
(次世代に向けた適正化)

- ・2030年のグローバルEV販売比率目標を「30%未満」へ下方修正
- ・普及期（2020年代後半）に向けた「Honda 0シリーズ」の開発に集中
- ・バッテリー垂直統合網の構築を適切なタイミングで実行

Takeaway: EV一辺倒ではなく、M/M思想によるHEVへの次世代ADAS搭載など、
スケールメリットを活かした競争力強化。

Financial Reprogramming: 資本配分の最適化 (2026-2030)

Cash Generation
二輪事業の拡大とHEVの販売増

12兆円以上

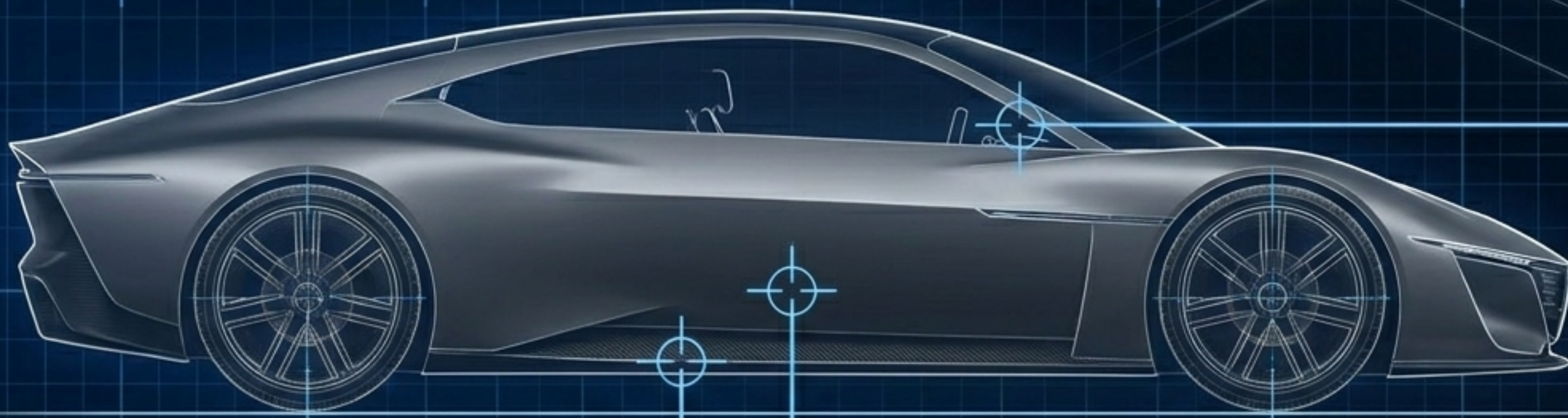
Investment Shift
EV/ソフトウェアへの資源投入
7兆円へ適正化

当初の10兆円計画から、カナダの工場の立ち上げ時期見直し等により3兆円を削減

Shareholder Return
変革期でも減配せず還元を維持
1.6兆円以上

DOE (株主資本配当率) を新たに導入

ゼロからの創造: Honda 0 Seriesの Thin, Light, and Wise アプローチ



1

Thin (薄く)

低全高スタイルとショートオーバーハング。
フロアの極限までの薄型化による、
M・M (マン・マキシマム、メカ・ミニマム)
思想のEV時代における具現化。

2

Light (軽く)

従来比約100kgの軽量化。
重量物の低重心配置による、
F1直系の「操る喜び」と
圧倒的な電費性能。

3

Wise (賢く)

独自のビークルOS (ASIMO OS)と
セントラルアーキテクチャー。
OTAによる継続的なアップデートと
超パーソナライズ。

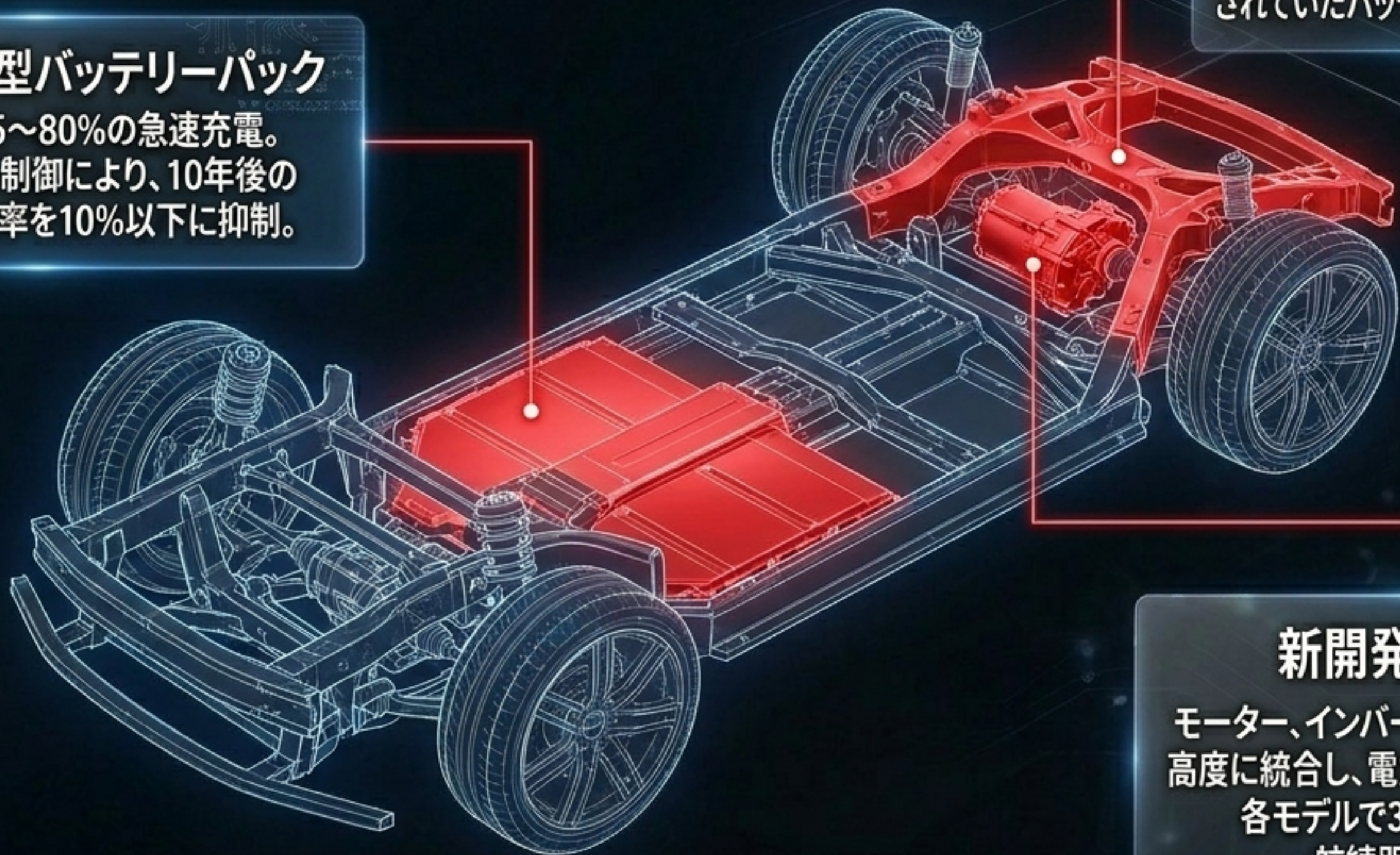
Engineering the Hardware: Thin & Light の裏付け

高密度・超薄型バッテリーパック

15分以内で15~80%の急速充電。
高度なシステム制御により、10年後の
バッテリー劣化率を10%以下に抑制。

次世代生産技術(メガキャスト)

6000トンクラスの高圧ダイキャスト
マシンを導入。60以上の部品で構成
されていたバッテリーを5部品へ激減。



新開発 e-Axle

モーター、インバーター、ギアボックスを
高度に統合し、電力変換効率を最大化。
各モデルで300マイル以上の
航続距離を実現。

Software-Defined Mobility: Wiseな頭脳と次世代ADAS

ASIMO OS & Centralized E&E

複数のECUをコアECUに集約。
ルネサスと共同開発する超高性能・
低消費電力AI半導体 (SoC) を搭載。
OTAアップデートで車が知性を宿すように進化。

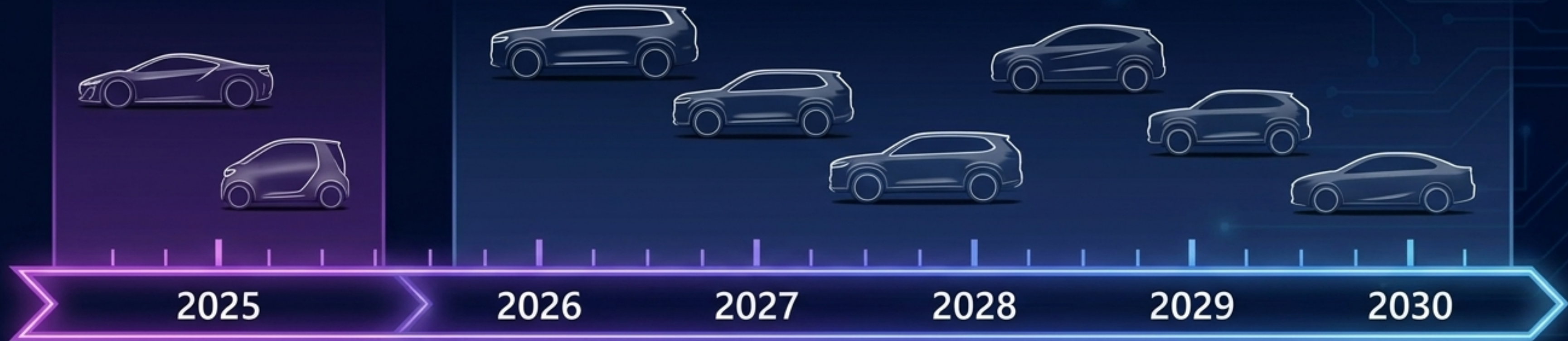
Core ECU &
2000 TOPS
AI SoC

次世代ADAS (2027年~)

ナビで目的地を設定するだけで、
一般道 (交差点含む) から高速道路まで、
アクセル・ステアリング操作を
システムが支援。

EVだけでなく次世代HEVにも搭載し、
スケールメリットで高度なソフトウェアを低コスト化。

グローバルEV展開のロードマップ



2025

2026

2027

2028

2029

2030

JMS 2025 Premieres

次世代Acura RSX Prototype
と、Boost Mode搭載の小型EV
Super-ONE Prototype を発表。

2026-2030 (Global 7 Models)

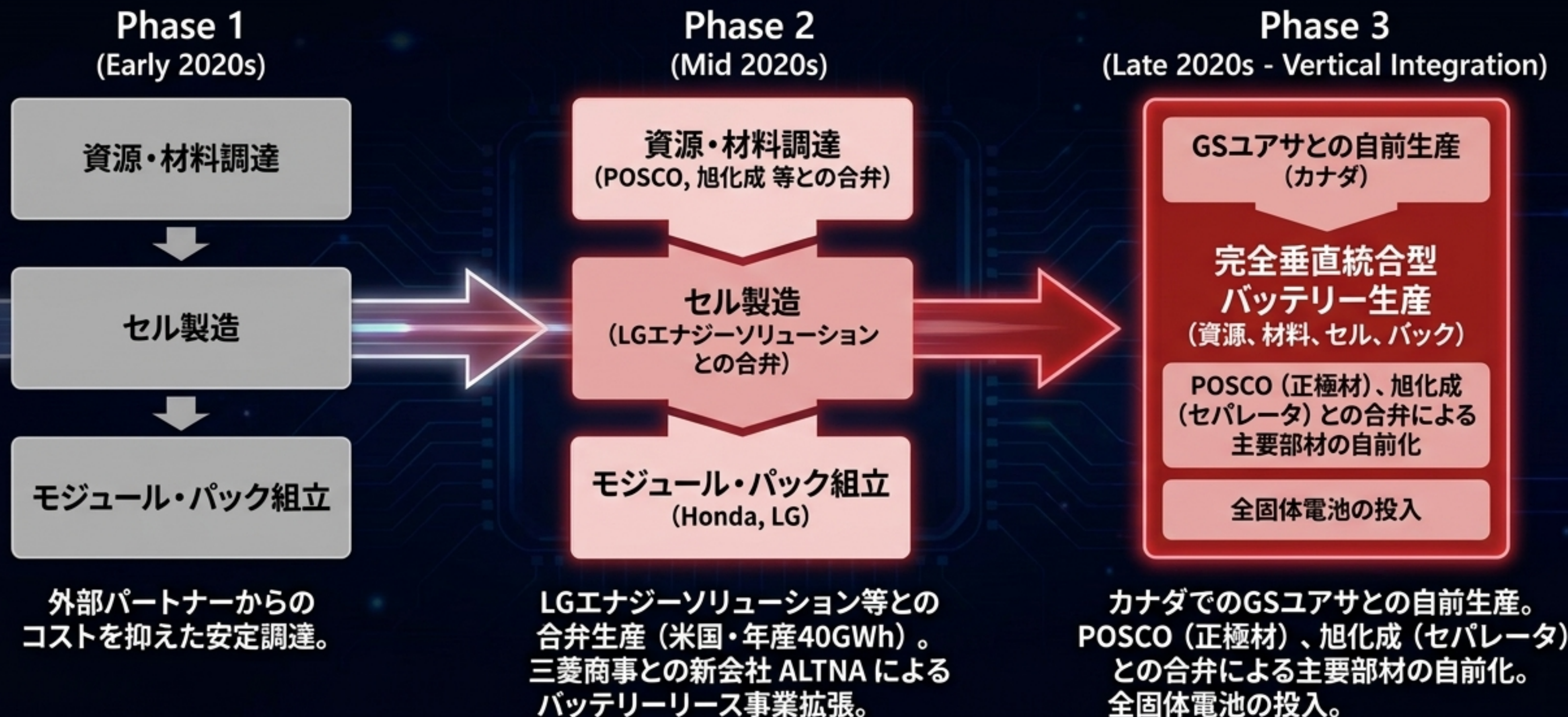
2026年北米のSaloonを皮切りに7モデルを展開。
2027年度末までに日本でSaloon、SUV、新たなエントリー-SUV Honda 0α を発売。

China & Small EV



中国市場では2027年までに 焔 (Ye) シリーズなど10モデルを投入。
日本ではN-VAN e:に続き、モバイルパワーパックを活用した超小型モビリティを展開。

バッテリー垂直統合バリューチェーンの構築



Impact: 2030年までに北米調達バッテリーコストを20%以上削減。

The Global Engine: 二輪事業の盤石な収益力と電動化

現在の実績

2024年度販売台数

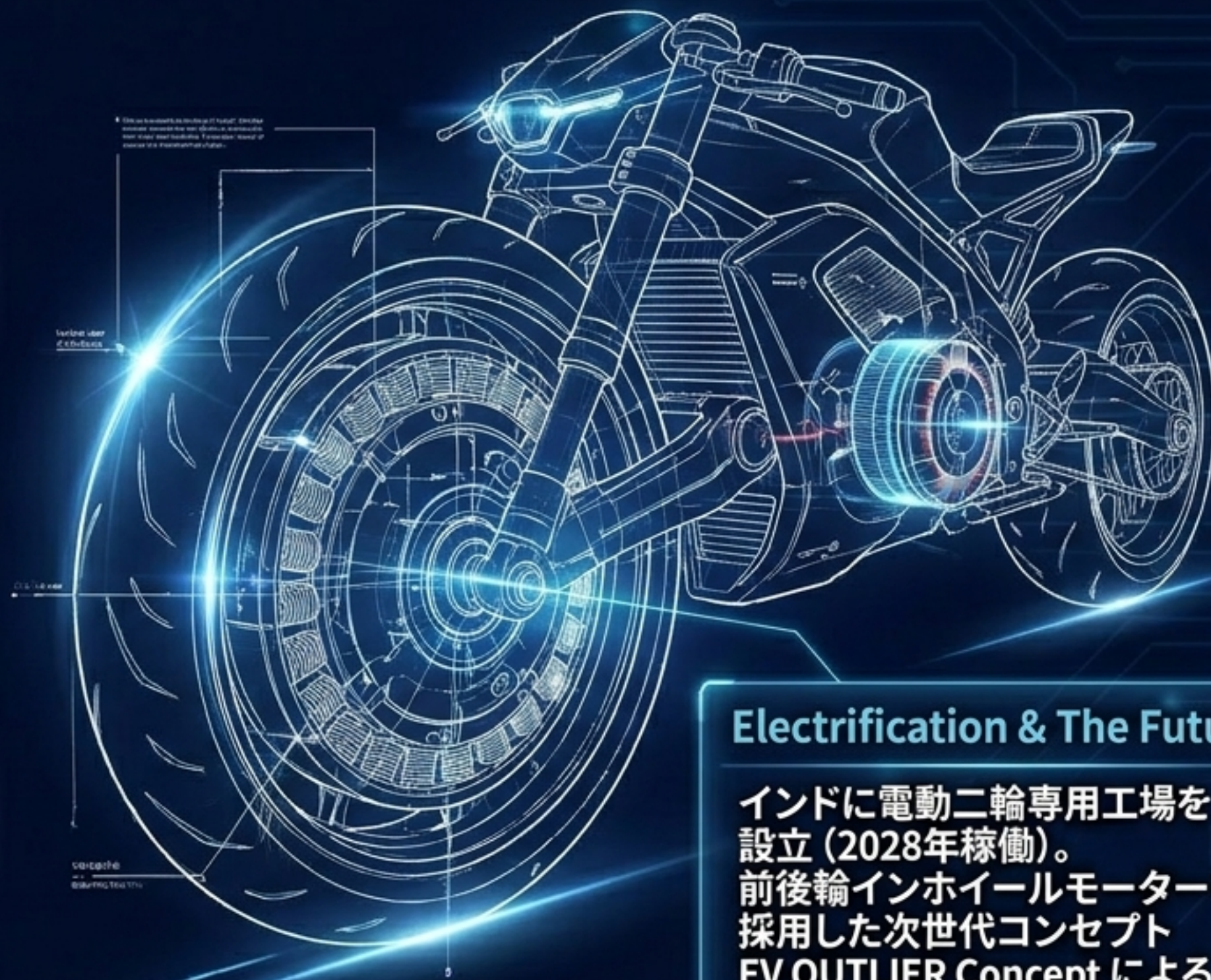
2,057万台

(世界シェア約40%の圧倒的No.1)

2031 Targets (ICE + EV)

世界シェア **50%**

営業利益率 (ROS) **15%以上**



Electrification & The Future

インドに電動二輪専用工場を
設立(2028年稼働)。
前後輪インホイールモーターを
採用した次世代コンセプト
EV OUTLIER Concept による
モビリティの再定義。

New Frontiers: 陸を超え、海・空・宇宙の総合モビリティ企業へ

環境負荷ゼロ社会の実現と既存事業の盤石化を土台に、Honda独自のコア技術を掛け合わせ、人々の活動圏を劇的に拡張する新領域への挑戦。

	燃焼技術	電動・制御技術	ロボティクス
3D (空)	ガスタービン・ハイブリッド eVTOL	ガスタービン・ハイブリッド eVTOL	自律飛行・作業ロボット
4D (時間/空間)	新エネルギー活用モビリティ	時間価値最大化サービス	多指ハンド・アバターロボット
Outer Space (宇宙)	再使用型小型ロケット	再使用型小型ロケット	月面・宇宙空間作業ロボット

Impact: 人々の活動圏を劇的に拡張し、新たな価値を創造する。

4D Mobility: Honda アバターロボット

バーチャルな自己能力の拡張

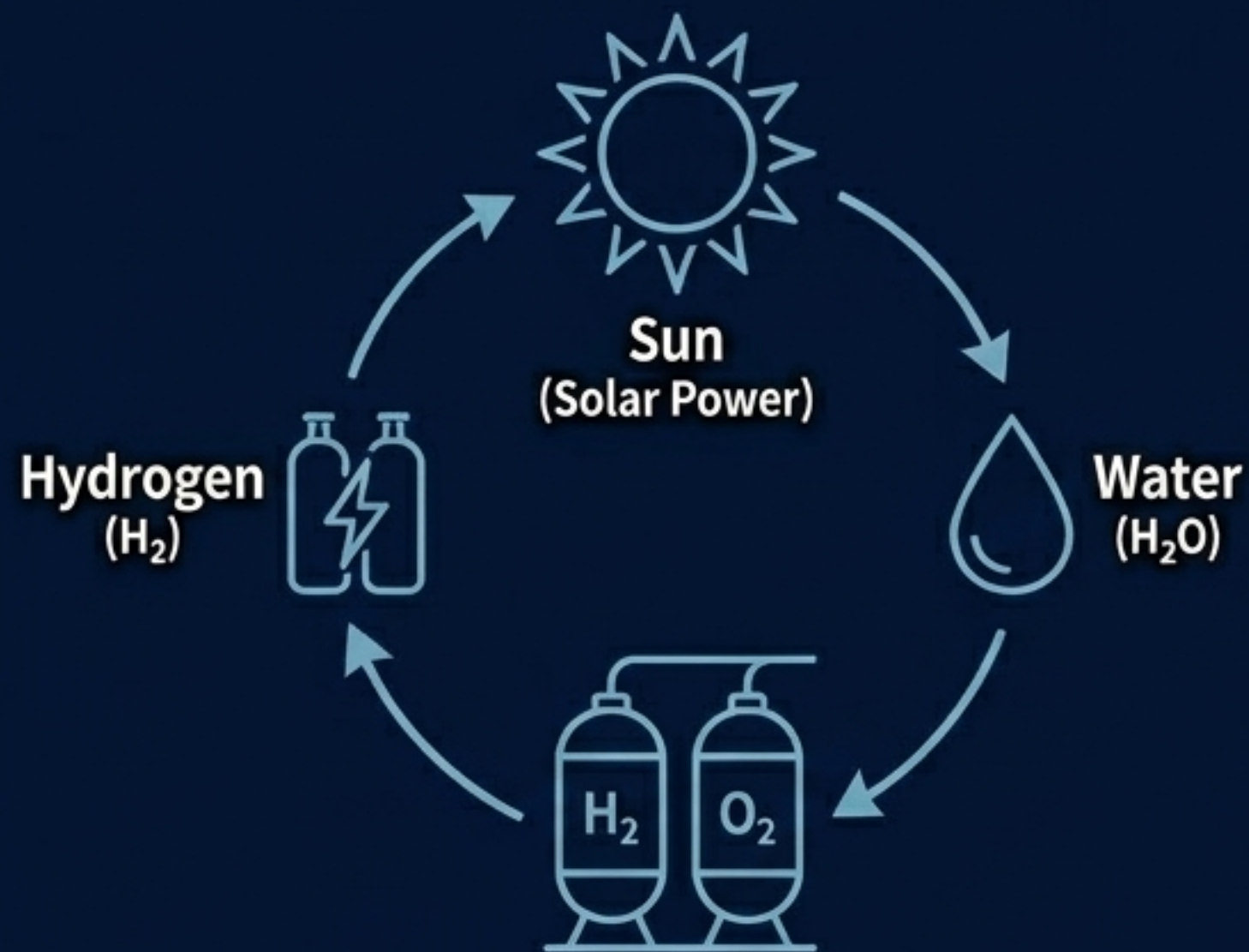
自分がその場にいなくても、リモートで作業や体験ができる分身ロボット。時間と空間の制約を解放し、2030年代の実用化を視野に開発中。



多指ハンドと独自のAI遠隔操縦

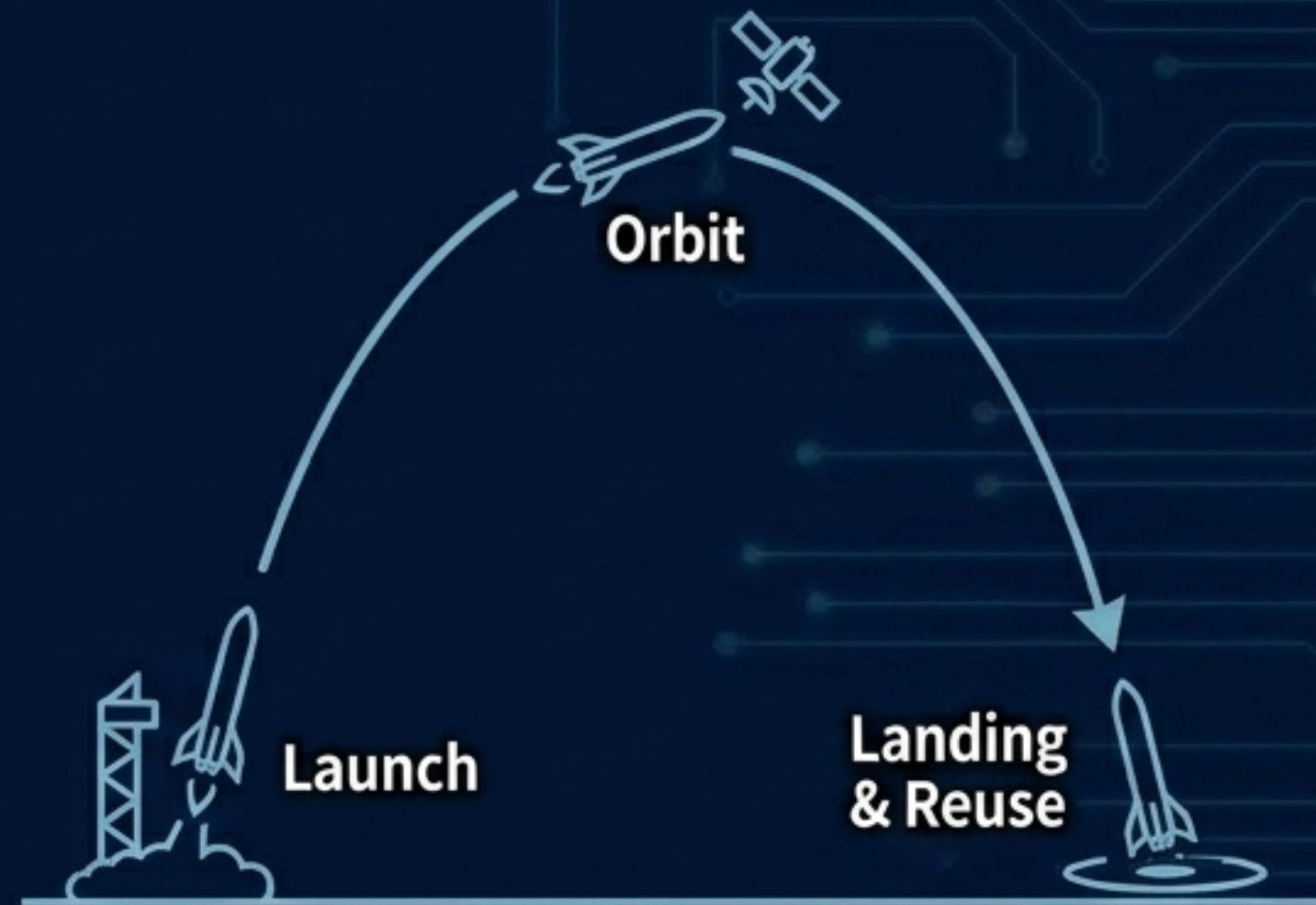
長年のロボティクス研究(ASIMO等)の結晶。小さなものをつまむ繊細さと、固い蓋を開ける力強さを人並みに両立。AIのサポートにより、直感的かつスムーズな道具の操作を実現。

Outer Space: 月面エネルギーシステムと持続可能なロケット



Lunar Mission

JAXAとの共同研究。燃料電池と高圧水電解技術を活用した循環型再生エネルギーシステムの構築。多指ハンドや高応答トルク制御技術を月面遠隔操作ロボットへ応用。



Sustainable Rocket

低軌道向け小型人工衛星打ち上げを目標に、自動運転の制御・誘導技術を応用して着陸・再使用を可能にするサステナブル・ロケット。2025年6月、北海道で打ち上げ・着陸テストに成功。

Foundation for Transformation: 変革を加速する組織運営体制

Structural Changes (April 2024)

サプライチェーン購買本部の新設

SDVアーキテクチャーに即した業種体制の構築と、
電動化時代のQCD (品質・コスト・納期)の劇的な向上。

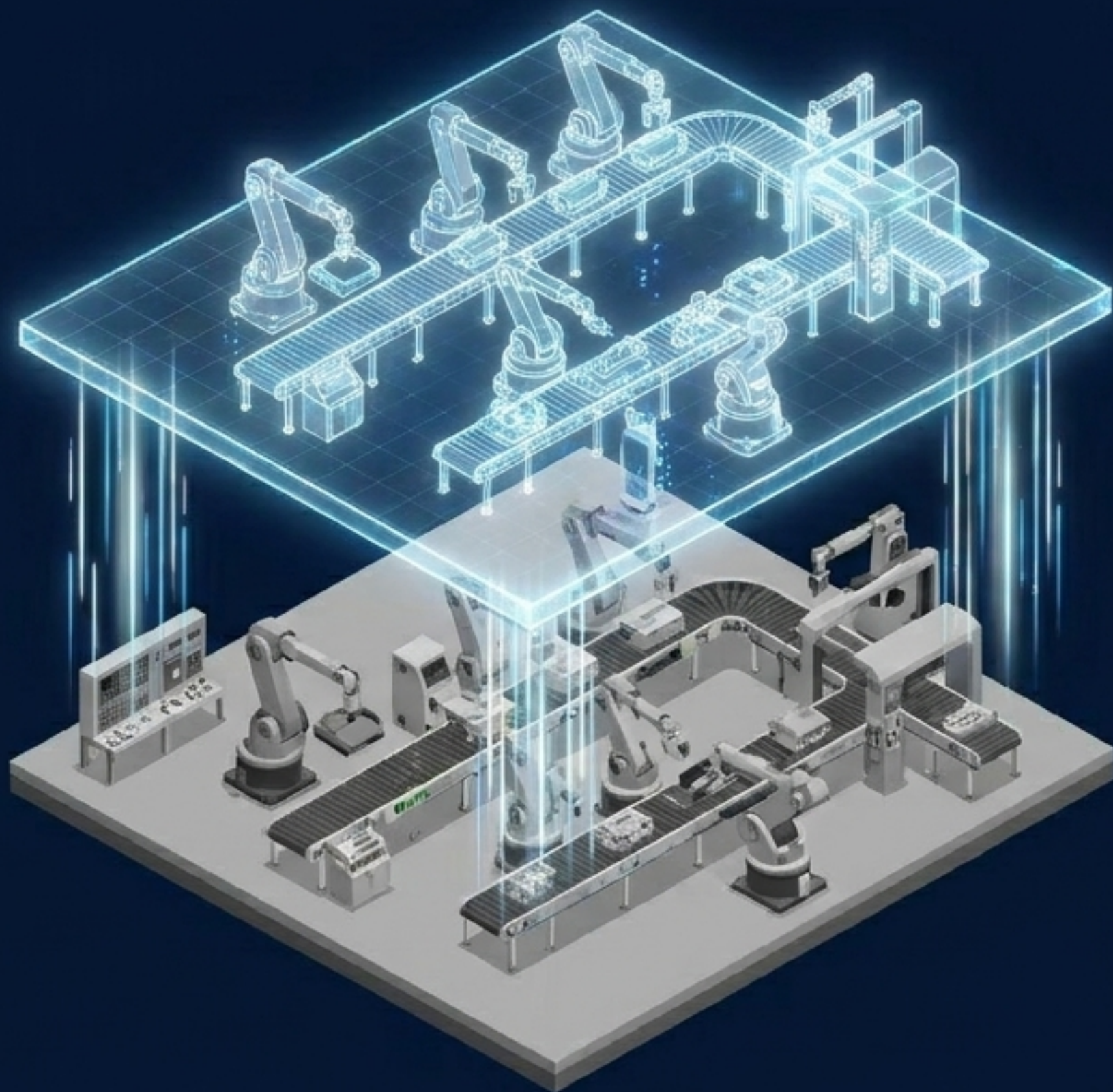
四輪生産本部の新設

生産統括と生産技術を統合。
グローバル連携による品質強化と生産体質の
高位平準化。

品質改革本部の新設

デジタル・サイバーセキュリティを含む
全社品質ガバナンスの統合と抜本的な強化。

Next-Gen Manufacturing: リアルとデジタルの融合による生産革命



フレックスセル生産システム

モジュール化された部品構成とセル生産を組み合わせ、生産量の変動や複数モデルに柔軟に対応。

デジタルツインの活用

現実のライン状況をサイバー空間でリアルタイムに再現。部品供給の最適化やボトルネックの早期解消を実現。

The Endgame (2028)

カナダのEV専用工場で完成形へ。世界トップレベルの生産効率により、従来の混流ライン比で約35%の生産コスト削減を達成。

The Honda Innovation Ecosystem (Synthesis)



EV市場の一時的な減速は脅威ではなく、強みであるHEVと二輪の「稼ぐ力」を最大化し、基礎研究（全固体電池、AI半導体、宇宙）へ投資を集中させる完璧な助走期間。普遍のコア技術（燃焼・電動・制御・ロボティクス）が全領域でシナジーを生み出す唯一無二のエコシステム。



The Power of Dreams: How we move you.

新しい「Hマーク」はEVだけでなく、次世代を担う主要HEVモデル(2027年以降)にも冠される。
これは単なるパワートレインの変更ではなく、Hondaが提供する「移動の喜び」そのものの変革の象徴である。

「技術で人びとの生活を豊かにしたいという想いは不変。独創的なアイデアを生み出す人材とともに、移動にまつわる価値を変え、社会をより良く変えていく。」